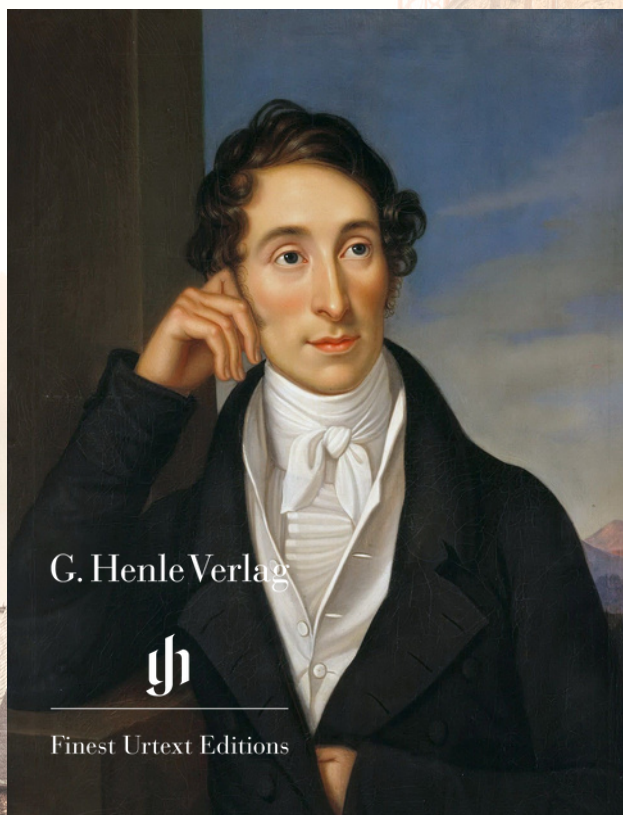


プログラムのなアイデアが根底に流れる、印象的なヴィルトゥオーゾ作品

C. M. v. ウェーバー

ピアノと管弦楽のための小協奏曲 へ短調 OP. 79



この作品は ...

- 様々な感情からなる一連の流れという、自由な形式で書かれています。
- 『コンツェルトシュテュック』（小協奏曲）として知られていますが、実際には3番目のピアノ協奏曲です。
- ウェーバーは当初からこの作品を短調で作曲しようと計画していましたが、聴衆に受け入れられないのではと心配していました。
- そこで彼は、十字軍の環境におけるドラマチックな愛の物語というプログラムのな内容を想定し、音楽の動機となるようにしました。しかしこの内容を明かすことはありませんでした。

ヘンレ版について

- 初の原典版。
- 世界的に有名なピアニストのマルカンドレ・アムランが運指を担当。

Weber

Urtext

Konzertstück f-moll
für Klavier und Orchester
Opus 79 · Klavierauszug

Concertstück f-moll op. 79
for Piano and Orchestra · Piano Reduction

もっとも有名な

... パッセージ

- 緩やかな第一部の冒頭モチーフ。
- 329小節目以降、フィナーレの歓喜に満ち溢れた音楽は、特にウェーバーらしい曲調です。

... 演奏家

- クラウディオ・アラウやアルフレッド・ブレンデルといった伝説的なピアニストたちが、傑出した演奏を披露しました。